

事業所用 放課後等デイサービス評価表(職員アンケート)

職員数 13名

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	分からない	意見
① 環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	9	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の人数が多い日は、支援室のスペースが狭く感じる時がある。 ・個室対応、宿題などで静養室、相談室、カフェを有効活用しているが、身体を動かしたい利用者があると、特に冬季は狭く感じる。 ・限りあるスペースを有効に使っていると思う。個々の特性や、活動内容で、個別対応やグループ分けがされ工夫されている。 ・利用者の多い日(10名以上)や集団活動内容によっては狭く感じる時がある。支援室以外の部屋の利用で対応できている。 ・支援室以外の部屋も利用して個に応じた支援ができているが、集団活動の時は活動内容によっては支援室が狭く感じる。 ・医ケア室、相談室、静養室などを使用すれば十分かと思われる。 ・毎日10人以上ご利用のため、個別活動は、相談室、カフェなど、個室に分かれてなんとかできているような気がするが、みんなでやる活動はやや狭いと感じる。 ・贅沢を言えばきりがないと思う。基本の支援室、相談室、静養室に加え、医ケア室、カフェ、そして廊下も使えるので適切と思う。(夏休みは別として。) ・利用者の特性や利用人数、また、時間帯によっては支援室だけでは不十分と感じる。他の部屋をうまく活用することで対応はできている。 ・動き回る子どもには、もっと広いスペースがあると良いと思う。 ・複数の部屋を活用しているが、静かなスペースが取れない時がある。 ・団体活動、個別活動を行うには適切であるが、イベント等の活動を行うにはもう少し広いスペースが欲しい。
	2	職員の配置数は適切か	5	7	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護の職員等に支援をお願いすることもあるので、利用者が多い日は放課後職員だけでは不足と感じる。 ・マンツーマン対応の利用者が多かったり、支援に入れない職員がいるとき少ないと感じることがある。 ・ご利用者の受け入れからおやつまでは人数は必要だが、そのあとの自由時間の時は、職員数はむしろ多い気がする。 ・制度上から言えば適切に配置してあると思うし、これも贅沢を言えばきりがなく、ごく忙しい時は別として適切だろうと思う。 ・今年度中の職員の補充で、なんとか安全に適切に対応できるようになったと思う。 ・マンツーマンの利用者も多いので、日によって足りないことがある。 ・その日の利用者の特性や人数にもよるが、おおむね職員数は適切であると思う。事業所全体で、職員同士協力し合っている。 ・手が多く必要とする時間帯は確かにあるが、多くいれば良いということではない。 ・その日の利用者によるが、学校数が多くなると迎えに出る職員が多くなり受け入れが不足する。 ・利用者定員に対し適切に行っていると思う。 ・少なく感じることもあるが、基本的に十分だと思う。1対1の支援が多すぎるように思う。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・危険を感じたり、支援するに当たり困った点はない。 ・トイレが車いすでは狭かったり、洗面所に入れなかったりする。 ・玄関の雨よけは欲しい。スロープから車までのところも屋根があるとありがたい。カフェも土足にしてもいいのかなとも思いつつ…何とも言えないが。 ・せっかくのバリアフリー建築でありながら、不要な物が置かれ、支援を妨げている場合もある。 ・配慮は適切だと思う。 ・玄関前の駐車スペースに屋根があるといい。 ・段差がなく車いす移動もしやすい。
② 業務 改善	4	業務改善を進めるために目標を設定し、反省会等の振り返りに広く職員が参画しているか	11	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングで、昨日の様子など支援方法を話し合っている。 ・良く参画していると思う。 ・業務改善はとても大切だと思うし、全職員に伝わるようにして頂きたい。 ・定期的に内部研修があり、出られる職員は出ている状況なので、広く職員が参画している。 ・毎日ミーティングを行っているので、反省や振り返りに職員が参加していると思う。 ・毎日のチェックシート、月のアセスメント、行事等の計画、反省会と、当番制にしたりして、職員全員が関わっている。 ・職員間で必ず打ち合わせを実施し、支援の振り返りを行い。情報交換を行い、職員の実務能力の向上に取り組んでいる。 ・半年に一度、目標を設定することで仕事に対する意識を高めることができる。 ・日々の打ち合わせで話し合いを行っている。 ・特別な行事の際には、起案書→実施→反省会がきちんと実行され、次の行事の際に活かされている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に行っているかいないか分からない。 ・アンケート調査の結果、どのような業務改善が行われたのか分からない。 ・会議等で話し合い改善につなげている。 ・説明は受けたが、全部は把握していない。 ・アンケート調査から具体的に業務改善につなげていくのは、これからだと思う。 ・年に一度アンケートを行うことで、保護者の意向に改めて気づくことができる。
	6	この評価の結果を事業所の会報や、ホームページ等で公開しているか	12	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・HPに掲載されている。 ・HPで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	0	6	5	<ul style="list-style-type: none"> ・育成会会員より、評価を頂いている。 ・第三者委員会の人選等の話を聞いているので、改善につなげていると思うが正確には分からない。 ・外部評価は受けていない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
8		職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ、障害者虐待、権利擁護など、内部研修を行っている。 ・虐待防止やモチベーションなどといった研修は十分行っていると思うが、実践的な研修(ABAなど)の機会が少ないと思う。 ・事業所内研修ももっとあるべき。 ・外部で研修してきたことを、内部研修で職員全体に報告することは、職員の資質の向上に繋がっていると思う。 ・必須の研修はもちろんのこと、それぞれ必要と思われる研修はできるだけ受けてもらっている。 ・確実に実施している。 ・内部外部ともに参加する機会がある。 ・職員の知識、技術の向上、実務能力の向上のため、積極的に研修受講等に参加している。 ・年間計画で内部研修、外部研修を行っているほか、必要と思われる研修は積極的に受講している。
9		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	11	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員が中心に、アセスメントを行っている。また、日々のミーティング時にも話し合われている。それを元に個別支援計画を作成している。 ・定期的(約1か月ごと)に職員間でアセスメントを行い、個別支援計画の作成に役立てている様子が見える。 ・児童発達支援管理責任者と、利用者に合った支援内容を話し合っている。 ・アセスメントは行っているがそれを元に計画を立てているかは分からない。 ・アセスメントを行い、課題を分析している。 ・子どもと保護者のニーズに応じた適切な支援を提供するため、放課後等デイサービス計画を作成している。 ・月に一回のアセスメントの他に、毎日の打ち合わせの中で、利用者の変化があると話し合いをして支援方法を考えている。
10		子どもの適応行動(集団に受け入れる能力を行動で分析する)の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	0	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していないが、客観的な判断資料があるとより個別の支援方法が見えてくると思う。 ・毎月、全員のアセスメントは行っているが、標準化されたアセスメントツールに添っているかは分からない。田中ビネーなどの検査は資格が必要ではないか？ ・もっと学校と連絡を取り合う。 ・適応行動の状況をはかるためのアセスメントツールが、使われているか分からない。 ・特にツールは使用していない。 ・アセスメントシートはあるが、標準化されたツールは使用していない。
11		活動プログラムの立案をチームで行っているか	12	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングなどの時間を活用して、みんなで考えて活動プログラムを立てていると思う。 ・1か月単位で話し合い決めている。毎日のミーティングでも話し合っている。 ・立案し、実施後の評価もしている。 ・担当者が主なプランを立てるうえで、みんなで意見を出し合い完成させている。 ・職員が意見を出し合い、お互いの意見を尊重しながら分担している。 ・日々のミーティングで話し合いを行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
③ 適切な 支援の 提供	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	11	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・固定化しないように工夫はしているが、利用者によっては慣れたことを繰り返すほうが心地良い方もいるので大きな変化には気をつけている。 ・常に新しいプログラムや思いつきを大切にし、お互いに否定しない雰囲気作りがされているため、様々な案が取り入れられている。 ・同じような活動が続かないように考えている。 ・月ごとに内容を変え、固定しないように計画している。担当する職員も変えて新鮮さを出し工夫している。 ・毎日活動をその日の担当者が考え、やっていると思う。工夫されていると思う。 ・毎月の活動をそれぞれ担当を決めて行っている。 ・ある程度固定化して少しプログラムにマンネリ化はあるが、それでも少しずつ変えて工夫している。 ・団体活動、個別活動の講師の方、ボランティアの方の活動を工夫を凝らし固定化しないように努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	12	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・休日、長期休暇には普段できない外出や、ボランティアさんに来てもらうなどして盛り上げる努力はしている。 ・放課後や夏休みなどの長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供し、自立を促進するとともに放課後の居場所づくりを推進し、支援している。 ・職員が一致して細かく設定して支援している。 ・平日は全体活動、個別活動と放課後の時間を利用者の無理のないように決めている。長期休暇については、日頃出来ない特別感のある課題や行事を数ヶ月前から計画している。 ・長期休暇中、いつもと違う場所になることが多いなか、場所に応じて色々と考えていると思う。 ・プログラムを設定し支援している。長期休暇については、反省会を行い、次回の支援につながっている。特に長期休暇中の活動は利用者に喜ばれている。 ・長期休暇中の際にも、内容をしっかりと決め、日々の活動を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	11	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画は、その人に合った作成になっていると思う。集団活動も9割の利用者は参加できている。 ・1人ひとりに合わせて活動の計画、支援している。 ・ゲーム、音楽、体験の活動、絵本の読み聞かせ、英語の活動等、子どもの状況に応じ支援計画を立て支援している。 ・集団活動と個別活動とつながりを持たせた内容になっている。 ・個別活動では、個々に応じた課題を提供している。 ・個別活動では、意思決定支援を行い、本人に活動を選択してもらうことも大切。 ・毎日集団活動を取り入れ、個に応じた活動も行うことで、一人ひとりの成長がみられている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングで、役割分担について確認している。 ・毎日支援の内容や役割分担を確認することで、その日の支援がスムーズに行われていると思う。 ・その日のリーダーを決めるべきかと思う。現場の中のリーダーが全体的に把握する。 ・支援開始前に職員間で必ず打ち合わせを実施し、その日行われる支援の内容や、役割分担について把握している。 ・毎日ミーティングでご利用者の状態や活動、担当などを決めている。 ・毎日ミーティング(送迎前)している。長期休暇中は定時に行うのは難しいため、支援終了時は必要時に打ち合わせをし、確認している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
16		支援終了時には職員間で必ず打ち合わせをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4	5	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせとしての時間は設定していないが、その日の支援で気づいたことは、支援終了時の話題になり、次の日の打ち合わせで共有している。 ・行っているかは分からないが、支援開始前にしっかりとミーティングを行っているので十分だと思われる。 ・毎日気付いた点や、いつもと違った様子などを話し合っている。 ・良く分からない。 ・その日の重要な特変事項に関しては、共有し、振り返りを行うが、主に翌日のミーティングで確認し合うことが多い。 ・おおむね良好。 ・支援終了時には、職員がそろわないため打ち合わせという形では行えないが、話はしている。必要な内容は、翌日のミーティング時に行っている。 ・支援終了後の打ち合わせを実施し、その日の支援の振り返りを行い子どもや保護者との関わりに、気付いた点、気になったところについて職員間で共有している。 ・支援終了後に時間がなく、翌日にすることが多い。 ・打ち合わせは行っていないが、話し合いをし振り返りをしている時もある。
17		日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・そのように心掛けている。もし忘れていても後日記録している。 ・正しく記録し、検証、改善につなげている。 ・その日行った支援の手順、内容、利用者の反応や気付きについて記録し、支援の改善や自らのスキルアップにつなげている。 ・チェック表に活動内容を記載し、支援経過表を元にアセスメントをしている。 ・ミーティング記録、個別支援計画に対するチェック表、支援経過表を記入している。 ・その日の担当した職員が記録をするようにしている。
18		定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見通しの必要性を判断しているか	12	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とはコミュニケーションが良く取れていると思うので、次の課題、個別支援計画の見通しの必要性が見えてくる。 ・定期的にモニタリングを行い、支援計画に反映していると思う。 ・定期的にモニタリングを行っている。必要時にはその都度ご家族と話をしている。 ・個別支援計画の見直しの時期には、モニタリングを行っているが、面接を通して更に計画を充実させていく。
19		<u>ガイドライン(別紙)</u> の総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	3	0	8	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にガイドラインを読み合う内部研修があつてよいと思う。(新しく職員が入ったなどの機会に) ・良く分からない。 ・意識しては行っていないのが現状。ときどき見直しては頭に置いて支援にあたるようにしたい。 ・色々な活動を組み合わせて行っている。内容も充実してきた。 ・担当者が適切に支援している。 ・ガイドラインの読み込みはまだ不足している。 ・ガイドラインの内容をしっかりと把握できていない部分もあるので、定期的に確認が必要。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
④ 関係 機関 や 保護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が、いちばんよく分かっている、ふさわしいと思う。 ・精通した職員が参画している。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。また、会議前に必要に応じて事前にミーティングを行っている。 ・児童発達支援管理責任者が会議に出席しているので良いと思われるが、できれば一緒に他の職員も参加してほしい。 ・児童発達支援管理責任者が出席しているのが、指導員も出席できるといい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校によって違いはあるが、連携はできている。 ・適切に行っていると思う。こちらから学校に問い合わせる場合もある。 ・学校で作成されている個別の教育支援計画等の内容を把握しておくとともに学校との役割分担を明確にし、積極的に行っている。 ・学校などとの連絡調整をしっかりと行っていると思う。 ・子どもの状況(体調面、睡眠、排便)は大切なので、学校へ迎えに行った際こちらから聞くべきと思う。 ・できている。受入れ日、下校時間など書面の受け渡しも行っている。 ・学校との情報共有は行っていると思うが、実際にどこまで連絡調整を行っているかは分からない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	11	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、保護者と連絡調整ができていると思う。 ・主治医の指示書に沿ってケアが行われている。 ・医ケア児受け入れの際は、主治医の同意書をはじめ、指示書、保護者の承諾書等、書類を整備し連絡体制を整えてから利用を開始している。 ・医ケアの子どもももっとみんなと支援室でレクレーションを楽しめるといいが、なかなか機会が少なくなってしまう。 ・各個人の連絡体制は必ず整えていると思うが、実情は分からない。 ・説明は受けたが、全部は把握していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	2	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・緑風園相談室の未就学児担当職員から情報を得ている。 ・他事業所とのやり取りはあるが、就学前については良く分からない。 ・良く分からない。 ・相談員さんから情報を頂いている。新1年生になる子どもに関しては、保育所や幼稚園を見学できるといい。 ・相談支援専門員と一緒に、就学前の児童と保護者が見学を早い時期から来られていた。 ・しっかりとした情報を基に支援計画を立てている。 ・相談支援専門員を介して、情報を得ることはあるが、積極的な働きかけはない。 ・発達支援の連続性を保障するため、就学前に利用していた保育所等や児童発達支援事業所等で行われていた支援内容について理解に努めている。 ・相談員からの情報はありますが、保育所等との情報共有が行われていない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	3	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・かどるあつぷでの卒業生はまだ一人だが、相談員が訪ねてきた際に様子を伝えた。 ・春休みもご利用して頂いているので、いいと思った。 ・説明は受けたが、全部は把握していない。 ・実際のことはわからないが、会議やモニタリングの状況を見ると、しっかり情報を提供していると思う。 ・卒業後かどるあつぷの生活介護をご利用される方の情報は同じ事業所ということで情報提供してもらっているが、他は分からない。 ・必要に応じて提供している。 ・利用者の担当相談員と情報共有している。必要な情報は提供している。 	
25	児童発達支援センター(ひまわり学園)、子ども発達相談室や発達障害者支援センター(ライズ＝はまぐみ内)等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	3	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ直接かかわったことはない。 ・支援内容を相互に理解しておくため、保護者の了解を得たうえで当該他の事業と連携し相互の個別支援計画の内容等理解に努める。 ・小学校入学時に子ども発達相談室と連携している。 ・個別のケースで行われていることがある。 ・主催の講演会や研修会等に参加することもある。 	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	0	1	10	2	<ul style="list-style-type: none"> ・交流はしていない。 ・放課後の短い時間ではどうしても他との交流は難しいと思う。 ・分からないが、交流はないと思われる。近くの児童クラブの子ども達と一緒に活動する機会があると良い。 ・検討していきたいと思う。 ・今のところない。 	
27	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	10	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門で参加している。内容は報告書を作成し、事業所内で回覧している。 ・報告書として挙がっているが、できれば重要な事柄の時は、全体会議の時に報告があると良い。 ・相談部会(児童)には、必ず参加している。 ・毎回参加し、報告書で職員に内容を周知している。 ・報告書にて内容確認をしている。 	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親御さんのお迎え時など、保護者のとコミュニケーションをとっていると思われる。 ・連絡ノートを活用。迎え時に直接保護者と話す機会を持っている。 ・家庭とのコミュニケーションは図れていると思う。 ・お迎えの時に、連絡ノートでご利用の様子を詳しくお伝えしているが、特にお迎えの時のご家族とのコミュニケーションを大事にしている。 ・ご家族の迎え時、学校からの伝言や当施設利用時の様子をお伝えしている。連絡帳も活用している。 ・日頃から保護者とのコミュニケーションを良くとっていると思う。 ・お迎えの際に日々の様子など、情報の共有を行っている。 ・帰りの迎えの際、保護者も必ず話していると思う。 ・情報等を連絡ノート等を通じて、保護者と共有し日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つように努める。 	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して研修会や講演会等の情報を提供しているか	9	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせや行事の案内は提供している。 ・事あるごとに情報は保護者に伝えている。 ・毎月のおたよりや社内の掲示板にポスターを貼るなどしている。また、特別有効と思われる内容については個別にチラシの配布などを行う。 ・掲示板で情報提供しているが、それで十分とは思えない。保護者も参加できる研修等の情報は、チラシ等を連絡ノートに入れるなどして提供しても良いと思う。 ・説明は受けたが、全部は把握していない。 ・パンフレットを配布しているが、もっと情報を提供できるといい。 ・研修会講習会の情報収集は積極的にしており、適当と思われるものは、チラシ等掲示したり、配布したりしている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明してる。 ・おそらく面接や契約時に丁寧な説明を行っていると思う。 ・契約時には説明をしているが、それ以外では求められたときや必要な時にしか行っていない。 ・説明は受けたが、全部は把握していない。 ・契約時にひと通りの説明をしているが、十分理解してもらえたかは分からない。
⑤ 保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口で親身になって話を聞いている様子が伺える。 ・アレルギー性皮膚炎の子には、その日の状態等を詳しくお話されていると思う。 ・保護者が悩み等を自分だけで抱え込まないように、保護者からの相談に応じ、信頼関係を築きながら、保護者の困惑や将来の不安を受け止め、助言と支援に努めている。 ・お迎え時など丁寧に対応していると思う。嘱託医が定期的に訪問するので、そことの連携があってもよいと思う。 ・排便のこともトイレ誘導をこまめにしていると思う。 ・保護者の方との会話を大事にし、相談しやすい雰囲気作りを心がけている。適切な助言と支援ができるように積極的に研修に参加していきたい。 ・関係職員が助言と支援を行っている。
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会、懇親会を行っている。毎回楽しみにしてくれている保護者もおられ、継続していきたいが、参加者が固定しがちである。 ・茶話会として年に1～2回行っている。参加者が少ないのが残念。 ・定期的に茶話会を行っている。 ・年に一回、保護者会を開いている。 ・茶話会と飲み会を年1回ずつ行っているが、参加者が固定化しているようで、他の方法で保護者同士がつながれるように考えていく必要があると思う。 ・年に数回行われている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・後回しにせず、その場で家族に伝えたり適切に対応していると思う。 ・契約時などに説明を行っている。 ・設置者、管理者と児童発達支援管理責任の指導の下、適切な対応に努めている。 ・苦情受付箱の設置をしている。事故などあった場合は積極的に苦情としてとらえ、対応している。 ・玄関に苦情箱を設置したり、お便りでもお知らせしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・育成会からのお便りと放デイでも月に1回お便りで情報を発信している。 ・月1回「おたより」を発行している。 ・説明は受けたが、全部は把握していない。 ・保護者の方に子ども達の様子が伝わるような内容を意識して作成している。 ・毎月一回おたよりを発行している。 ・おたよりに月の予定を載せている。
35		個人情報に十分注意しているか	9	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・書類や会話などには注意していると思われる。個人ファイルの欄の鍵がかかかっていないなどの分からないことがある。 ・利用者に関する申し送り事項は、口頭ではなく用紙に記録することで、職員に周知している。 ・「持ち出さない」は徹底されているし、十分注意している。 ・注意はしているが、PC画面や受付カウンター等、誰でも目に入るところについてうっかり広げていることがある。意識の問題。 ・他人が容易に知り得ない個人情報を知りうる立場にあり、個人情報の適切な取り扱いに十分注意している。 ・ミーティング時などや、支援中に利用者の話をすると、職員の声が大きくなってしまっていることがある。
36		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達がしやすいように配慮しているか	12	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に合った方法を職員間で話し合っている。保護者には、できるだけ丁寧な対応を心がけ話をしてもらえるように努めている。 ・絵カードやホワイトボードを使い、視覚支援もしているが、正直伝わっているのかは分からない不安もある。 ・コミュニケーションツールを、個々に合うよう工夫している。 ・絵カードや写真カードを活用してコミュニケーションツールとして使っているがそれが本人に合っているか評価しているのか分からない。 ・個々の障害特性に応じた伝達方法(絵カード等)を用いた支援を行い、意思の疎通を行っている。 ・その日の予定を視覚的情報でもわかるよう、絵カード等を使用している。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェスペースで地域交流を行っているが、放デイの利用者の参加は無い。 ・時により行事を行い、カフェを開放し、地域に開かれた事業を行っている。(サイクリングロードまつり)等。 ・カフェにおいて、事業を色々行っているが、放デイとしては関わりを持っていない。 ・サイクリングロードまつりや手芸講座を行い、地域住民の方々との交流を図っている。 ・市の市民まちづくり支援課と連携し、カフェを使った活動を行っている。 ・カフェスペースで事業を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
⑥ 非常時 の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	4	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの事故やけが、健康状態の急変が生じた場合は、事業所で作成された緊急事態への対応マニュアルに沿って、保護者、主治医への連絡等、速やかに対応、実施に努めている。 ・内部研修は行っているが、保護者への周知はできていないと思う。 ・職員には周知しているが、保護者に対しては周知されていないと思われる。掲示板等にマニュアルを掲示するのはどうか。 ・マニュアルを元に研修も行っている。 ・マニュアルはあるが、全職員が熟知しているとは思わない。保護者にも積極的に伝えていない。 ・職員にはそれぞれの研修会で、周知できていると思われる。保護者には、「おたより」でマニュアルのあることは知らせているが、周知までには至っていない。 ・職員には周知しているが、保護者へのアンケートから保護者への周知不足を感じる。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を行っている。実際、車いすの利用者がベランダから避難するなど、玄関から避難できない場合、車などの障害物がある。 ・定期的に行っている。 ・内部研修、避難訓練を定期的に行い、非常災害時に子どもたちを速やかに誘導できるように取り組んでいる。 ・様々な状況を想定して、訓練を行っている。 ・年間計画に沿って訓練している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか	12	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修も行っているが、虐待への自覚なく、悪気なく、という場合があると思うので、職員間で共通理解をしていきたいと思う。 ・折に触れ内部研修を行っている。 ・事業所内で実施される虐待防止研修や自治体が発行する虐待防止研修等、積極的に受講している。 ・外部の研修会に参加した職員が、内部研修を行い、職員間で共通理解をしている。 ・内部研修を行い周知している。 ・定期的に研修が行われている。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	8	3	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどできているが、職員が危険と判断してベルトをすることも有る。 ・必要と考えられる利用者には、保護者に承諾を得て、個別支援計画に記載している。 ・緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書、経過観察、再検討記録を作成し対応している。 ・内部研修等で組織的に決定している。身体拘束は行っていない。 ・個別支援計画には、記載されていない。 	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーのある利用者の一覧を作成し、職員に周知しているが、医師の指示書を必要とする利用者がいない。 ・アレルギーのある方のリストを表示している。おやつに気をつけている。(エビ、卵など) ・医師の指示書があるのかは分からなかった。 ・アレルギーを持つ利用者は把握している。特に医師の指示書はもらっていない。(重篤な利用者はいない) ・職員全員に共有してもらおう。 ・食物アレルギーはしっかり把握している。 ・食物アレルギー表があるが、医師の指示書に基づくか分からない。 ・医師の指示書はないが、家族からの情報はもらっている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧し、必ず目を通すようになっている。その場での話し合いもしている。 ・事あるごとに事業所内で共有している。 ・ヒヤリハット事例集作成に協力し、内容を理解し実施する。 ・ヒヤリハットは作成し、半期ごとにまとめているが、事例集として活用されていない。 ・職員間で情報を共有し、傾向や原因を明らかにし、改善に努めている。 ・作成し、回覧されている。
回答数 559 (13人×43項目)		392	63	29	75	
%		70.1	11.3	5.2	13.4	

実施日 平成 31年 1月

【自由記載】

・自分で自由に動ける子に対しては個別で色々な支援を提案・提供しているが、意思疎通できない子に対しての課題なり、支援がもう少し充実するとよいと思う。支援者の視点がどうしても動ける子中心になってしまいがち。

・限られたスペースの中で、横になる人、ボールで騒ぎたい人と、タイプがはっきりしている。ボールを使用できる時間を決めてわけてはいるが…。手芸も飽きてしまっている方もいて…。課題である。

・今年度は、活動に英語を取り入れたり、調理や買い物の体験、多方面へのお出かけを経験した。子どもたちはもちろん、ご家族にも大変喜んで頂いた。これからも、いろいろな経験ができるような活動を提供していきたい。

・放課後の職員だけでなく、日々生活介護の職員もいろんな場面で協力してくれ、かどるあっぷ全職員がこどもたちに関わっている。また、大人の利用者との関わりもあり、他の放デイではない良さがあると思う。

・活動がしっかりしていてよい。

・インフルエンザ流行中も、換気、手洗い、マスク着用を職員で一生懸命したお陰で、施設内で感染もなく良かった。

・マニュアルの定期的な見直しと、職員、保護者への周知は早急に必要だと思う。

・ヒヤリハットのまとめや研修など、やりっぱなしになりがちなので、今後の支援に生かすためにどうしたらよいか考えたい。

・各事業で自由に使える予算が決まっていると、色々物が買やすくなると思う。職員の決済で物が買えて、予算管理することも勉強になると思う。

・研修にもっと知識的、実践的な研修を入れてほしい。職員間で話をする、基本的な専門用語が分からない、等の人が多いように感じられる。